

## 平成 26 年度補正予算及び平成 27 年度当初予算の重点事業

(☆新規／◎拡大／・継続／◆26 年度補正予算)

### 1 安全・安心な暮らしの実現

すべての市民が元気で生活を送ることができるためには、「市民の生命（健康）を守る安心に暮らせるまちづくり」を推進する。

#### ・新病院整備事業(27 億 6,367 万 9 千円)

平成 27 年 10 月 1 日開院を目指して、新病院整備を行う。

新病院整備にあたって、医療機器の購入や建設工事の 2 次発注（解体・外溝工事）を行うため、一般会計から病院事業会計に繰出を行う。  
一般会計から病院事業会計繰出金は、1,480,927 千円（昨年 2,486,867 千円）

#### ・避難所看板整備事業(150 万円)

水原地区 10 カ所・笹神地区 2 カ所に整備し、避難場所等防災情報の周知を図る。

#### ☆土砂災害危険箇所看板整備事業(353 万 4 千円)

市内の土砂災害警戒区域に警戒区域の周知看板を設置し、関係住民全員への継続的な防災意識の醸成や来訪者などへの注意喚起、避難場所等防災情報の周知を図る。

#### ◎消防団員活動事業(4,672 万 8 千円：354 万 6 千円増)

消防団の体制変更により副分団長を 12 人増加し、消防団組織の活性化と強化を図る。

#### ☆小型動力ポンプ付積載車整備事業(1,220 万 4 千円)

消防団が使用する小型動力ポンプ付積載車のうち老朽化が進んだ 2 台を更新することにより、消防団員が活動しやすい環境の整備を整備し、地域防災力の充実強化を図る。

◎消防用水利標識等更新整備事業(153万8千円:124万円増)

錆、腐食、色あせにより老朽化した消火栓標識等の交換を計画的に行うことにより、夜間の火災出動時、また消防団、市民からの消火活動の円滑化を図る。

◎市民相談事業(301万3千円:54万3千円増)

[法律相談]

・月2回、一人1回30分で6人を受け付ける形態で市民の相談に対応する。

[消費者行政相談]

・多種多様、複雑化する消費生活に係る相談業務の充実にために、消費生活相談員を採用し、週5日、相談に応ずることができる体制を構築する。また、被害防止対策として地域包括センター等とタイアップし地域で高齢者等が集う場へ相談員が出向き「出前講座」を実施し、相談窓口の啓発にも取り組む。

☆生活困窮者自立支援事業(1,657万7千円)

生活困窮者支援として、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、自立相談支援事業・住居確保給付金の支給や、就労準備支援事業・家計相談支援事業を実施する。

・マイマイガ対策事業(413万6千円:120万6千円増)

平成26年夏に大発生したマイマイガの襲来・多発生に伴い、電柱等に産み付けられた卵塊(残存卵塊)からう化した幼虫(及び成虫)について、樹木等への食害や市民等のガに対する嫌悪感を低減させるため、所要の対策を講じる。

☆20歳の健康プレゼント事業(53万6千円)

若年者の糖尿病が増加する中、20歳を迎えた若者に健康の大切さを知ってもらい、将来にわたる健康を維持する動機づけとするため、新潟大学医学部との共同研究により、成人期(20歳)の血液データをもとに14歳時と比較し、若い世代からの生活習慣病の予防を図る。

◆☆健康寿命延伸・生活習慣病予防医学講座開設事業(3,000万円)

子どもからお年寄りまでの一貫した生活習慣病予防対策を支援する仕組みを構築し、健康寿命日本一並びに健康づくり先進都市として、活力あるひとづくりと魅力あるまちづくりを実現する。

☆あがのいきいきマイレージ事業（健康）（72万5千円）

各種イベントや市内施設へ訪れた市民に、マイレージポイントシールを付与し、一定のポイントが集まると賞品が当たる抽選会に応募できる。市民が目的を持って様々な事業に参加したり各施設に訪れたりすることで、社会参加による生きがいを感じると共に健康意識向上に繋げることを目的とする。

◆☆低所得・子育て世帯支援事業(2,573万6千円)

低所得者世帯及び子育て世帯に対して1世帯につき、お買い物券3,000円を給付する。

## 2 子どもの育成支援の充実

将来の阿賀野市を担う子どもたちを社会全体で大切に育むためには、「だれでも安心して出産・子育てができるまちづくり」を推進する。

・子育て支援事業(5,601万9千円:472万9千円増)

保育所に入所していない児童がいる地域の子育て世帯が、子育て支援センターで気軽に遊んだり育児相談を受けたりすることにより、育児不安の解消と子育て世代の仲間づくりを支援する。また、保護者の事情で一時的に家庭で保育が困難になった場合、保育園で一時保育を行なう。

◎児童相談事業(402万2千円:85万7千円増)

児童家庭相談業務と要保護児童対策地域協議会の充実を図り、児童虐待発生予防と要保護児童の適切な支援を行い、子育て支援に活かす。

#### ☆すぎの子クラブ建設事業(2,355万6千円)

現在のすぎの子クラブを水原小学校敷地内に移設し、公募した社会福祉法人から建設をしてもらい、利用定員を20人増やしたたうえで平成28年4月から新たに運営を行ってもらおう。

#### ・ 病児保育事業(929万円:351万8千円増)

保護者の多様な就労形態に対応し、社会的活動と子育ての両立を容易にするため、病児保育を実施する公認保育所に補助金を交付する。

#### ◎温故塾事業(108万円:45万円増)

学力の定着を図ることを目的に、家庭教師や学習塾に通っていない4地区の中学生を対象に、自主学習での疑問点などの指導・助言を行う塾を開講する。講師は元中学校・高等学校の先生や県内の大学生などで、毎週土曜日の午後1時30分から3時30分まで、福社会館を主会場に数学と英語を主体に学習支援を行い、参加費(受講料)は無料とする。

#### ・ 放課後スクール事業(32万円: -)

放課後に塾やスポーツ等の習い事がなく、家に帰っても勉強を教える家族が帰宅していない小学5、6年生に、宿題や予習・復習等の自主学習を学校を退職された教職員が支援する。

#### ・ 読み聞かせ事業(56万円: -)

乳児及び幼児の健診時、読み聞かせ、絵本の紹介、絵本の贈呈などを行う。

#### ☆子供の体力向上支援事業(100万円)

小学校低学年以下の体力向上を目的として成長段階に応じた運動機能プログラム等を実施する団体を支援することで、基本的な体力の向上と併せて、幼少期からスポーツの楽しさを学ぶことを図る。

#### ☆公園施設長寿命化対策支援事業(698万円)

都市公園における公園施設について、今後進展する老朽化に対する安全対策の強化及び改築・更新費用の平準化を図る目的から、計画的な改築・更新を行うことによってスムーズな維持管理と豊かな都市環境を創造するまちづくりを進める。

#### ☆紙おむつプレゼント事業(300万円)

子育て世代の経済的負担の軽減と少子化対策を目的として、これから第3子以降を出産する家庭に、対象児が1歳になるまでの間、月5,000円を上限に紙おむつ購入費の助成を行う。

#### ☆妊婦さん応援事業(54万円)

子育て世代の経済的負担の軽減と安全な出産を目的として、妊婦健診の15回以上の自己負担分について、1回上限5,000円を助成する。

#### ☆あがの学校活動応援補助事業(70万円)

小中学校の創意工夫により行う自主的、主体的に取り組む学校活動に対して支援を行う(1校5万円以内)

#### ☆保田小学校増築・改修設計調査事業(1,751万3千円)

平成29年度からの赤坂小学校及び山手小学校(統合廃校)の、保田小学校(統合受入校)への統合を見据えて、保田小学校の増築及び改修を実施するための調査・設計を行い、統合による教育環境の向上を図る。

### 3 高齢者や障がい者福祉の充実

高齢者・障がい者が住み慣れた地域で健康に生きがいを持って過ごすためには、「高齢者・障がい者が安心して暮らせるまちづくり」を推進する。

#### ・老人世帯等除雪事業(54万円：－)

住民税非課税の高齢者や障がい者のいる世帯を対象に、屋根の雪降ろし作業について1回あたり1万円を上限に1年度につき3回まで助成することで、冬場の雪に関する身体的、経済的不安の解消を図る。

・ 高齢者等玄関先除雪補助事業(100万円：－)

除雪支援事業主体となる自治会が、その自治会内に居住する「災害時要援護者名簿に登録された者」及び「その家族」等に対し、積雪時における玄関先から道路までの除雪を行う。

・ 敬老会事業(551万7千円:57万6千円減)

77歳以上の高齢者を対象にして、これまでの地域における貢献及び功績に対し敬意を表すため、4地区(6月に笹神、京ヶ瀬、9月に水原、安田)で開催。今年度の対象者は約6,800人おり、PR等を実施して出席者の増加を図る。

・ 障害者総合支援事業(7億6,949万7千円:3,304万円増)

共生社会を実現するため、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく各種障害福祉サービスの利用にかかる扶助費等を支給する。

☆ヘルプカード普及事業(40万2千円)

援助を必要とする人が携帯し、いざというときに必要な支援や配慮を周囲の人をお願いする「ヘルプカード」の普及を図り、本人や家族・支援者の安心や障がいに対する理解を広める。

◎介護予防支援事業(1,451万6千円:413万8千円増)

要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、介護予防ケアマネジメントを実施する。

#### 4 地域経済の活性化

中小企業をはじめとする地元企業の元気の創出による市の経済の活性化、新規就農者の育成や市の農産物のブランド化、市の自然や観光資源を活かした誘客のためには、「市民が元気で働けるにぎわいのあるまちづくり」を推進する。

◆・プレミアム商品券発行事業(3,500万円:500万円増)

市内4商工会がプレミアム付き商品券を発行する。プレミアム率10%

◆☆五頭温泉郷旅行券発行事業(1,000万円)

五頭温泉郷旅館協同組合が割引利用券を発行する。(10,000円賢を5,000円で割引販売)

◆☆中小小売店商品券発行事業(1,000万円)

市内4商工会が小売店(大型店対象外)を対象にしたプレミアム商品券を発行する。(500円商品券5枚を2,000円で販売)プレミアム率25%

◆☆あがの美味しいお米商品券発行事業(1,200万円)

商工会・JA等が割引利用券を発行する。(5,000円券2枚、1,000円券2枚を10,000円で販売)プレミアム率20%

・地場産瓦普及助成事業(500万円：－)

地場産瓦の普及促進と建築関連業者の仕事確保による経済対策として、建物リフォーム及び新築に係る瓦使用に対して助成金を交付する。

☆地域おこし協力隊推進事業(1,742万3千円)

市内の定住化対策と地域の活性化を目的として、都市住民が住民票を市内に移し、1年間(最長3年間)地域おこし活動(農業・観光関係)に取り組んでもらうことで、阿賀野市の魅力を発掘し、地域住民と協働で地域の活性化を図る。

◆☆がんばる農家応援事業(9事業)(1,411万円)

農業に取り組む環境を整える就農支援や園芸支援を通じて、がんばる農家を応援する。

◆☆市民農園・新規就農支援園芸ハウス整備事業(500万円)

水稻主体の農業から施設園芸導入による農家所得の向上、雇用の確保、交流人口の増加を目指す新たな戦略策定のため、基礎調査を委託する。

◆☆がんばる酪農家応援事業(115万円)

新潟県酪農発祥の地である市の酪農を未来に継承するため、乾草、粗飼料の購入補助により、酪農家の減少に歯止めをかける。

◎多面的機能支払事業交付金(9,638万3千円:7,955万1千円増)

地域の共同活動等を支援するとともに多面的機能の発揮を促進し、担い手に集中した水路・農道等の管理を地域で支えることにより、将来共に農業生産の継続が図られるよう後押しする。

◆☆創業・中小企業成長支援事業(970万円)

創業・中小企業が新規事業に取り組む際に、経営資源の不足を解消するため、CFを活用した場合にかかる初期費用を補助する。

◆☆産業振興フェア補助事業(230万円)

あがのわくわく産業フェアの開催にかかる経費の一部を補助する。

◆☆地方公共団体連携型広域展示販売・商談事業補助(67万9千円)

中小企業・小規模事業者の地域外への新たな販路開拓に資する広域的な展示販売会等を開催する商工会等に対して経費の一部を補助する。

◎中小商工業振興資金貸付事業(1億7,000万円:2,000万円増)

中小商工業振興資金の融資のための原資を金融機関に貸付し、商工業者の設備投資や経営安定化の支援をする。

◆☆国民保養温泉地計画策定事業(30万円)

観光の拠点となる五頭温泉郷の地名度を上げ、更に、ブランド力を高めるために「ラジウム温泉」を活かし、健全な保養地として国が認める「国民保養温泉地」の指定を目指し、国民保養温泉地計画を策定する。

#### ☆観光案内看板設置事業(700万円)

市の観光拠点である、瓢湖や五頭温泉郷等のエリアと主要国道沿いに順次、観光看板を整備し、観光人口の増加と市民との交流促進を図る。安田瓦葺の屋根付き看板で、地域の特徴を表すことで看板に注意を引くとともに地場産業のPRが可能となる。

#### ☆瓢湖水きん公園長寿命化対策支援事業(2,737万円)

公園長寿命化計画により建設課所管の都市公園とあわせた事業として、今後進展する老朽化に対する安全対策と、改築・更新費用の平準化による計画的な維持更新を図る。

#### ☆観光地公衆トイレ長寿命化事業(155万円)

市内観光地にある18施設19棟のトイレに洋式便器、幼児用施設、身障者用施設などを順次設置し、利用者の満足度の向上と、施設の長寿命化を図る。

### 5 生活に密着した住環境整備の促進

市民生活に身近な道路や側溝・消雪施設・排水路の整備、住宅取得の支援等による定住化対策、循環バスの運行・公共交通機関と駐車場の連携のためには、「すべての人にやさしい住みよい魅力的なまちづくり」を推進する。

#### ・消雪施設整備事業(2億6,900万円:5,570万円増)

老朽化した消雪施設の計画的な更新を行い適切な維持管理を図るとともに、冬期間の市民生活の安全、利便性を確保するため除雪困難箇所の消雪施設整備を推進する。

#### ☆橋梁長寿命化修繕事業(5,200万円)

市が管理する市道に架かる橋梁について、従来の事後保全型管理から予防保全型管理への転換を行うことで、合理的かつ効率的な道路ネットワークの安全性・信頼性の確保とともに、維持管理コストの縮減及び必要予算の平準化を図る。

#### ☆道の駅企画調査事業(1,200万円)

一般国道49号阿賀野バイパス沿いに整備する「道の駅」の計画を推進するため、社会環境の変化や市民ニーズを把握しつつ、道路管理者（国）等との協議を進め、整備計画等を策定する。

#### ☆市街地循環バス運行事業(160万円)

水原駅から新病院、水原総合体育館から水原公民館までの市街地の住環境の整備と活性化を目的として、市内循環バスの試験運行を含めた検討を行い、市営バスの利用促進策を展開する。

#### ◎虹の架け橋住宅取得支援事業(2,190万円:890万円増)

子育て世代及び多世帯の定住化を図るとともに、地域経済の活性化を促進するため、市内に住宅を取得するものに対し経費の一部を補助する。

#### ・住宅リフォーム補助事業(6,000万円:ー)

市民の生活環境の向上と経済対策として市内住宅関連業者の振興を図ることを目的として、住宅リフォームの経費の一部を補助する。

#### ◎住宅用太陽光発電設備設置補助事業(300万円:ー)

クリーンエネルギーを積極的に推進するまちづくりを目的として、システムの設置者に対しその導入費用の一部を支援する。

#### ☆空き家リフォーム補助事業(100万円)

市内にある空き家を移住・交流の地域資源として位置づけ、定住促進・地域活性化を図るため、空き家の所有者が移住を希望する者への賃貸、売却を目的としてリフォームを施す場合に、その費用の一部を支援する。

#### ☆安田IC駐車場整備事業(1,000万円)

安田IC駐車場の拡充を行い、駐車スペース不足の解消を図る。

☆水原公民館耐震補強・大規模改修工事(3億8,558万9千円)

水原駅や新病院をを中心とする市街地の活性化と併せて、水原公民館を市民の活動拠点となるよう「地域交流センター」にリニューアルを行い、耐震補強と避難所としての機能向上を合わせて行う。

☆水原総合体育館耐震補強・大規模改修工事(6億3,214万9千円)

耐震補強を行い機能回復をするため大規模改修を行う。また、避難所指定施設であることから避難所としての機能向上を図る。

・あがの市民活動補助事業(500万円：－)

市民協働によるまちづくりを推進するため、地域団体、市民活動団体等が自主的、自発的に取り組む公益的な活動に対して支援を行う。

☆あがの市民交流推進補助事業(150万円)

市民相互の一体感の醸成と交流を促進し、市の活性化に取り組む市民や市民活動団体等が主体的に行う活動に支援を行う。

☆あがのいきいきマイレージ事業(ボランティア)(293万円)

商品引換券と交換できるマイレージポイントカードを作成・発行。市民がボランティア活動や公益的な市民活動に参加した場合ポイントを付与し、市民が自主的に公益活動に参加できるきっかけづくりや環境づくりを図る。

☆大学生ボランティア活用事業(27万8千円)

若者定住対策の第一歩。新潟県内の大学生から阿賀野市のイベントに参加してもらい、交流の場を提供し、さらに交流を継続させるために、商店街内「おんこ茶屋」を活用し、学生が地域に対してできる提案をつなげる取り組みを構築する。

・総合計画策定事業(1,301万5千円:594万1千円増)

平成26年度に引き続き、次期総合計画の策定を進める。

☆公共施設等総合管理計画策定事業(529万2千円)

老朽化が進む市内の公共施設の修繕計画や、旧町村時代に建設された施設の再編等による環境整備を目的として、平成27年度から28年度の2か年にかけて総合管理計画の策定を行う。

◆☆総合戦略策定事業(965万4千円)

総合戦略策定のために必要な事実関係の調査等について委託を行う。